

探究成果 発表会

7/17 (金)

タイムスケジュールとテーマ↓

10:05-11:00

1. 大根の可能性
2. わくわくクッキングから生まれる地域のつながり
3. 道の駅の新しい特産品
4. 大樹町の人に猟師を知ってもらうには
5. 大樹町の有害鳥獣による農作物被害を減らすには
6. より多くの人に大樹町の飲食店へ足を運んでもらうためには

11:10-12:15

7. 空き家の家主で困っている人をどのような方法で助けられるか
8. 不用品を通じた地域交流
9. SNSで大樹高校の魅力を伝えるためには
10. 地元の特産品を使ったお土産品をつくり、大樹町の魅力を伝えたい
11. 高齢者が参加できるイベントについて
12. 大樹高校の入学者を増やすには
13. 大樹町民に大樹の宇宙産業を理解してもらうには

この発表会は

大樹高校3年生の『地域デザイン』の成果発表会です。生徒がみなさんから見たり、聞いたり、自分たちで検証した内容をもとに、自身の考えの変化や未来への提案など、各々の探究成果を発表いたします。

日時：7月17日(金)

9:45 開場

10:00 成果発表会スタート

12:20 終了予定

※終了時間は前後する可能性があります

場所：大樹町生涯学習センター
コスモスホール

●入り口で記名をお願いいたします。



発表者と発表内容

1.大根の可能性

大樹産の大根の魅力を広めるため、大根を使った料理を試作しレシピを作成しました。町内の大根農家さんに体験に行き、大根をレシピと一緒に自分たちで販売する予定です。

2.わくわくクッキングから生まれる地域のつながり

高齢者と高校生の交流の機会として、大樹高校で高齢者と高校生が一緒に料理をするイベントを企画しました。

3. 道の駅の新しい特産品

漁業をテーマに道の駅の新しい特産品を検討しました。道の駅さんと町内の事業者さんと協力して、大樹産の魚を使った商品のレシピを作りました。

4.大樹町の人に猟師を知ってもらうには

大樹町の有害鳥獣による農作物被害の調査から始まり、あまり知られていない猟師さんの仕事を知ってもらうため、小学校の出前授業を企画しました。

5.大樹町の有害鳥獣による農作物被害を減らすには

有害鳥獣による農作物の被害を減らすため、センサーやレーダーを使った追い払いの装置を検討しました。

6. より多くの人に大樹町の飲食店へ足を運んでもらうためには

大樹町の飲食店をPRするため、自分たちでPR動画を作り、SNSや道の駅のモニターで流し、反応を調査しました。

7. 空き家の家主で困っている人をどのような方法で助けられるか

大樹町の空き家を活用するため、町内の空き家活用実践者にお話を聞き、空き家を持っている人に配付するチラシを作成しました。

8. 不用品を通した地域交流

ゴミを減らすために、不用品を活用し普段は関わることのない人たちが交流を持てる場として、フリーマーケットを企画しました。実際のお祭りでの開催を目指しています。

9. SNSで大樹高校の魅力を伝えるためには

大樹高校の魅力を伝えるため、TikTokやYoutubeに流すショート動画を自分たちで作成し反応について検証しました。

10.地元の特産品を使ったお土産品をつくり、大樹町の魅力を伝えたい

大樹町の特産品を使ったお土産品を考え、ハスカップとクリームチーズを使ったクッキーサンドを検討しました。

11.高齢者が参加できるイベントについて

一人暮らしの高齢者にインタビューに行き、日常の困りごとなどを聞きました。高齢者が参加できるイベントについて検討し提案します。

12.大樹高校の入学者を増やすには

大樹高校の入学生を増やすため、大樹高校の魅力について考え、魅力化に関わる教職員へのインタビューや特色あるサークル活動をしている生徒にインタビューしました。

13.大樹町民に大樹の宇宙産業を理解してもらうには

宇宙産業への理解を広めるため、大樹高校で宇宙関連の仕事に携わる人を招いた座談会を企画し、実際に授業で実施し理解が深まったかを検証しました。